

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会 2008（平成20）年度第1回常任幹事会 議事要録

日時：2008（平成20）年4月24日（木）14時00分～17時00分

場所：愛知淑徳大学（星が丘キャンパス・1号館2階会議室）

出席：名城大学（飼沼敏雄）、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田正江、八鳥麻子）、
同朋学園大学（國枝泰周、角田久子）、中京女子大学（三浦慶嗣）、
豊田工業大学（井上映子）、名古屋女子大学（尾崎友子）、南山大学（栗山義久）、
愛知工業大学（加藤直美）、中京大学（中河原省三）、
愛知淑徳大学（久保朝孝、武藤まり子、西本真理子、山田稔） 敬称略

欠席：愛知学院大学

議事に先立ち、理事校愛知淑徳大学図書館長（久保）の新任挨拶の後、本日の出席校の確認（p.2）が行われた。なお議事進行は理事校愛知淑徳大学図書館長（久保）が担当し、下記の議題を協議した。

1. 2008（平成20）年度東海地区協議会総会について

理事校愛知淑徳大学（武藤）より資料（p.2）に基づき総会議事進行について説明がなされた。

当日の議事進行を効率的に進めるべく、報告事項は理事校が一括報告し、詳細または補足事項等についてのみ各担当校が報告説明する旨提案があり、各校これを了承した。また、昨年度と同様に午後の議事後、1時間の講演（講師：愛知淑徳大学文学部名誉教授 野添篤毅氏）を予定していることが説明され、各校これを了承した。

2. 報告事項

1) 2007（平成19）年度東海地区協議会事業報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より資料（p.3-5）に基づき報告が行われた。

2) 2007（平成19）年度研究会事業報告

前年度研究会幹事校中京女子大学（三浦）より資料（p.6-8）に基づき報告が行われた。

3) 2007（平成19）年度図書館サービス・システム委員会事業報告

図書館サービス・システム委員会委員長校名古屋女子大学（尾崎）より資料（p.9-12）に基づき報告が行われた。

4) 2007（平成19）年度図書館管理・運営実務責任者会議事業報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より資料（p.13）に基づき報告が行われた。

5) 2007（平成 19）年度協会関連事項報告

ア. 部会・協会関係および関連団体報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より資料（p.14-17）に基づき報告が行われた。

イ. 協会賞審査委員会・研究助成委員会

協会賞審査委員会南山大学（栗山）より、資料（p.18）に基づき 2007 年度協会賞の審査の結果、慶應義塾大学メディアセンターが推薦されたと報告が行われた。

理事校愛知淑徳大学（武藤）より、資料（p.18-19）に基づき研究助成委員会について報告が行われた。

ウ. 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員校名城大学（飼沼）より、資料（p.20-22）に基づき報告が行われた。

エ. 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員校愛知工業大学（加藤）より、資料（p.23-24）に基づき協会ホームページのサーバー移行、加盟館名簿のリニューアルについて報告が行われた。

オ. 私立大学図書館協会 2008 年度西地区部会総会について

理事校愛知淑徳大学（武藤）より、資料（p.25）に基づき、既に送付された開催要領通りである旨の報告が行われた。また私立大学図書館協会総会・研究会についても、資料（p.26）に基づき付言があった。

3. 協議事項

1) 2007（平成 19）年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より、資料（p.27）に基づき決算案について説明が行われた。四日市看護医療大学の新規加盟による加盟会費および地区研究会交付金の差異ならびに「館灯」の広告掲載の増収による差異について説明がなされた。

あわせて資料（p.28-33）に基づき、研究会、図書館サービス・システム委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について担当校より説明が行われた後、監事校名城大学（飼沼）より決算案について本日 4 月 24 日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案が承認された。

2) 2008（平成 20）年度役員校および委員校（案）

理事校愛知淑徳大学（武藤）より、資料（p.34）に基づき報告があり、承認された。

3) 2008（平成 20）年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校愛知淑徳大学（武藤）より、資料（p.35）に基づき、今年度の事業活動の報告があり、承認された。

4) 2008（平成 20）年度東海地区協議会予算（案）

理事校愛知淑徳大学（武藤）より、資料（p. 36-38）に基づき、予算案について説明が行われた。

まず、収入の部の加盟会費および地区研究会交付金について、2007 年度における四日市看護医療大学の加盟による予算額の増額が説明された。なお、本年 4 月 1 日に新設された修文大学（学校法人一宮女学園、一宮女子短期大学）から加盟申請があったが、9 月の総会後に正式加盟となるため、予算には反映させないとの追加説明があった。館灯広告掲載費は、2007 年度の掲載業者増加による決算額を反映した予算額とした。

支出の部においては、会議費は従来の常任幹事会 3 回分に加えて、新委員会ワーキンググループ会議のため増額することが説明された。研究会および図書館サービス・システム委員会の支援費は 2 万円増額すること、さらに図書館サービス・システム委員会は隔年の 1 泊研修会を実施する年度のため、7 万円増やし、合計 9 万円増額することが説明された。

その他、各研究会および委員会等に係る予算額については、各担当校より説明が後段のとおりなされ、それぞれの承認とともに 2008（平成 20）年度東海地区協議会予算（案）が承認された。

5) 2008（平成 20）年度研究会事業計画ならびに予算（案）

研究会幹事校同朋大学（國枝）より資料（p. 39-40）に基づき、「新しい大学図書館のサービス」をテーマにした活動について説明があり、承認された。なお、予算案については、意見交換会参加費を 2007 年度実績に基づき計上することとした。

6) 2008（平成 20）年度図書館サービス・システム委員会事業計画ならびに予算（案）

図書館サービス・システム委員会委員長校名古屋女子大学（尾崎）より資料（p. 41-43）に基づき、今年度の事業計画について説明があった。

システム・ネットワーク化アンケートは時宜に合った設問に変更して実施し、結果を研究集会にて報告する。また図書館実務担当者研修会はワークショップ形式で計画している。さらにその他の活動について説明があり、承認された。

7) 2008（平成 20）年度図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）

理事校愛知淑徳大学（武藤）より（p. 44）に基づき、今年度の事業計画について説明があり承認された。

8) 2008 年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校、当番校について

理事校愛知淑徳大学（武藤）より資料（p. 45-46）に基づいて、2013～14 年度の東海地区協議会理事校は愛知学院大学の予定であるが、同期間に西地区部会会長校が廻ってくること、かつ、同期間の会長校が未定であること、さらに 2013 年には西地区部会総会会場校とともに、協会の総会会場校の当番の予定もあることが説明された。今年度はこれらの案件について、継続して検討することとした。

9) 東海地区協議会活動の見直しについて：新委員会構想（案）

理事校愛知淑徳大学（山田）より、新委員会の骨子についての理事校修正案（p. 47-49）に基づいて説明があり、審議を行った。新委員会は現在の二委員会（研究会、図書館サービス・システム委員会）を統合するもので、2007 年度常任幹事会において長く検討された結果を勘案し作成した提案である。審議における幹事会メンバーの反応はおおむね次のとおりであった。

移行手続き、事業内容など、前回同意した項目への異論はなかった。

委員長の選出基準については「理事校ローテーション表」に基づく選出という点に異論はなく、また理事校担当校以外からの選出の可能性を残すことも確認した。委員の選出については「委員長校あるいは前委員長校と協議」を「委員長校あるいは幹事校と協議」に修正すべきとの意見があり、修正することを確認した。

ワーキンググループについては、次期研究会幹事校である豊田工業大学を「次期（仮称）幹事校」として加えたいという意見があり、加えることを確認した。またワーキンググループは中京大学を中心として活動することとなった。

このほか次のような意見が出された。委員長校と幹事校の具体的な役割分担についてはワーキンググループで決定することになるが、委員長校でも規模はさまざまであること、委員長校と幹事校の連携についてはそのときの具体的な状況にも大きく左右されること、委員は公募して選出する方法もほしいこと、私立大学以外の国公立大学図書館や公立図書館との研修活動の連携も視野に入れること、などである。

以上の審議の結果、修正案を上記のように再修正した案が承認された。

10) その他

2008 年度常任幹事会のメンバーについて、理事校愛知淑徳大学（武藤）より説明があった。

『館灯 48 号』表紙の印刷ミスについて、理事校愛知淑徳大学（武藤）および前年度研究会幹事校中京女子大学（三浦）より報告があり、対応方法について説明があり、これを承認した。

以上